

# 宮城県東松島市一特産の「海苔」の養殖を伝える産業文化交流一

- 2018年1月にデンマーク王国を訪問し、フレデリック皇太子殿下下謁見の他、オリンピック委員会や震災後多くのご支援いただいた企業を訪問し、感謝の思いを伝えた。
- 2018年8月にデンマーク王国で開催された「食」をテーマとしたサマースクールに、本市を代表する産業である「海苔」養殖の技術や考え方を伝えるため、地元漁師を派遣し講義と意見交換を行った。参加者と寝食をともにし、海の視察やデンマーク王国の食、産業、文化、環境について視察を行い、様々な場面で意見交換を行うことで相互の理解を深めた。
- 2018年10月に開催された市民文化祭においてデンマークブースを設置し、震災後の支援や8月の産業文化交流事業のPRと地元飲食店の協力でデンマークカラーのドリンクを作るワークショップを行い、デンマーク王国とのつながりを周知した。
- 2019年2月にはデンマーク王国から学生を招待し、市内中学生宅でのホームステイや中学校への体験入学等を通し、交流を深める予定。



オリンピック委員会訪問



海苔養殖についての講義



イベントでのPRブース



海の視察及び意見交換



参加者と海藻採取



現地で取れる海藻



種会社視察



生物の多様性の講義



取組み状況の展示

デンマーク国旗をモチーフにしたドリンク



資料1-1

# 復興ありがとうホストタウン となった経緯

東日本大震災直後の2011年3月30日に駐日デンマーク大使が東松島市を訪れ、寄付金やおもちゃを頂いたことをきっかけに交流が始まった。

2011年6月フレデリック皇太子殿下に市内避難所、小学校、保育所等を慰問・激励いただいた。2017年10月に再訪、震災復興モニュメントへ献花、市内小学生と交流していただいた。

学生交流としては、2011年9月にデンマーク関連企業からのご支援により、市内中学生12名がデンマークを訪問して交流を行った。その際ホストファミリーとなったデンマーク学生が2015年に東松島市を訪れ、交流を深めた。

その他の人的交流や、包括協定締結による繋がり、デンマーク伝統刺繍であるクロスステッチのプロジェクトにより様々な交流が生まれている。



2011年フレデリック皇太子との交流



2011年学生交流



2015年学生交流



2017年フレデリック皇太子との交流

## デンマーク友好 子ども基金

デンマーク女王陛下や多くのデンマーク企業からの寄付金を原資に「デンマーク友好子ども基金」を創設。市内小学校や震災により被災した保育所の施設整備や遊具購入に活用されている。

## 来年度以降の予定

- 市報やイベントにおいて、デンマーク王国やこれまでのつながりについてPRを行う。
- 大会期間中には、デンマーク選手団を大会会場で応援するため、応援ツアーを企画する予定。
- 大会終了後には、活躍したデンマーク選手をお招きし、スポーツ交流や慰労会により市民と交流していただくとともに、東日本大震災からの復興状況を見ていただく。